

特定非営利活動法人
大阪市地域福祉施設協議会

総 会 議 案 書

2019年（令和元年）5月27日（月）午前10時00分

場 所 大阪市立社会福祉センター

◆ 議 案 ◆

- ① 2018年度事業報告
- ② 2018年度決算報告
- ③ 監 査 報 告
- ④ 役 員 変 更
- ⑤ 2019年度事業計画案
- ⑥ 2019年度事業予算案
- ⑦ そ の 他

2018年度 事業報告

1. 総会、役員会、委員会の活動

① 総会の開催

5月21日（月）大阪市立社会福祉センター

② 役員会の開催

4月23日（月）、9月6日（木）、1月18日（金）、2月26日（火）

③ 施設長会の開催

3月15日（金）

④ 各種委員会の開催

◆ 企画委員会

事業等の企画・運営・調整

◆ 拡大企画委員会

事業等の企画・運営

◆ 研修委員会

各種分野別研究会等の計画・実施

① 地域の子育て支援研究会

② 地域の子ども研究会

③ 地域の障がい児・者研究会

④ セツルメント研究会

◆ 自然体験施設事業委員会

①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動

ワークキャンプ活動（小・中・高生）

②びわこセツルの家改修工事

《 特別委員会 》

◆ バザー実行委員会

第20回自然体験施設応援バザーの企画、運営

◆ 全国研修会準備委員会

日地協主催 第23回全国地域福祉施設研修会名古屋大会

◆ 全国児童部会準備委員会

日地協主催 第17回全国地域福祉施設研修会児童部会

◆ NPO取得10周年事業委員会

NPO取得10周年記念事業（3月2日 ホテルアウィーナ）

2. 年間行事

5月21日	大阪市地域福祉施設協議会総会	大阪市社会福祉センター
5月27日	第33回 ともだちドッジボール大会	長 居 小
6月7~8日	第60回 大都市社会福祉施設協議会	福 岡 市
7~8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月24日	第17回 全国地域福祉施設研修会児童部会	名 古 屋 市
11月11日	第20回 自然体験施設応援バザー	風の子保育園
11月18日	第48回 ともだちフェスティバル	長 居 公 園
1月18日	新年会	魚河岸料理 さこば
1月12日	第24回 こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
2月23~24日	第23回 全国地域福祉施設研修会	東 京 都
3月2日	NPO法人取得10周年記念事業	ホテルアウィーナ

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業報告

・ 5月15日	セツルに家利用打ち合わせ会	長居保育園
・ 7月1日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 7月3日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月~8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 8月19日	セツルの家消防訓練（今川学園こどもの家）	セツルの家
・ 9月11日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月15~16日	中高生キャンプ	セツルの家
・ 9月~3月	セツルの家夏季外利用	セツルの家
・ 9月29日	セツルの家台風被害工事打合せ	セツルの家
・ 3月14日	セツルの家浜整備工事打合せ	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜側、駐車場側の草刈り、整備
- ・ 浜東側、溝の清掃、草刈り、整備
- ・ 別棟・床フローリング工事
- ・ トイレファン取替工事
- ・ トイレ電源回路漏電改修工事
- ・ 倉庫、シャッターボックス張り替え工事
- ・ 倉庫、トイレ間通路波板張り替え工事
- ・ 軒とい及び受金修繕工事
- ・ 別棟、濡れ縁及び屋根下地、アルミサッシ交換工事、室内建具調整
- ・ 通路部分屋根工事

③利用施設 23施設

④利用泊数 35泊

○利用延べ人数 2,186人

⑤利用施設からのアンケート

- ・ 冷蔵庫に前の施設の食材が残っていることがあるので確認してほしい。
- ・ 本棟、縁側の戸に歪みがあり開閉が困難になる。
- ・ 別棟の床がフローリングになり、とても使いやすくなり有難い。
- ・ 本棟、奥の部屋のコンセントの破損がある。
- ・ 火災感知器の誤作動がある。
- ・ 猛暑のため対策が大変だった。

⑥担当 宮川、竹内（長居保育園）

4. ワークキャンプ

①活動報告

○日時 7月1日(日)

○参加人数

小学6年生 21名	中高生 12名	大人 26名	合計 56名
-----------	---------	--------	--------

○作業内容

- ・ 台所 ・ 倉庫の整理 ・ 草刈り ・ 薪縛り ・ 浜掃除
- ・ 飛び込み台の整備 ・ 布団干し等
- ・ 午後からは、湖水浴等の交流を楽しむ。

今年度は大人と一緒にワークキャンプ活動を行いました。来年度以降の中高生活動に繋がるように小学校6年生にも声をかけました。高学年や中高生だからできるワークキャンプ活動。大人顔負けの作業振りで、とても頼りになりました。午後からは自然を体で、心で楽しんだ一日になりました。まだまだ遊び足りないといった感じの子ども達でしたが、本番は各施設や大地協での活動のお楽しみに…。皆の思い出の場所「セツルの家」がこれからも子ども達の居場所としてあり続けてほしいと思います。

詳しい活動内容は別紙の2018年度「地域の子ども研究会報告集」に記載しておりますので、そちらをご覧ください。

5. 自然体験施設応援バザー

①第20回 自然体験施設応援バザー

『風の子 よっといでまつり』

- 日 程 : 2018年11月11日(日) 11:00~15:00
- 開催場所 : 風の子保育園・風の子ベビーホーム
- スタッフ : 150名(ボランティアを含む)
- 参加施設 : 愛染橋保育園・阿さひ保育園・育徳園保育所・今池子どもの家
今川学園保育園・風の子保育園・四貫島友隣館・大国保育園
特養いくとく・長居保育園・南港東保育園・やまと保育園
望之門保育園・平和の子保育園・わかくさ保育園・北田辺保育園
都島友の会
*地域の子ども研究会ほか

○収支報告

	収 入	支 出
金券	298,000	
バルーンアート材料費		2,000
イベント(かばうま)謝金		10,000
振込手数料		540
合計	298,000	12,540
純利益		285,460

※経費につきましては主催法人が負担いたしました。

○まとめ

- ・ 「地域住民との交流、開催施設の活性化、法人職員間の交流」を目的とした。特に、施設を超えた法人職員間の連携・交流ができ、ひとつの成果となった。
- ・ 例年は模擬店や舞台イベントの他に、各施設より物品を集めてバザーを行ない収益を得ていたが、今回は行わず、子どもたちが楽しめるものを中心に企画した。
- ・ 風の子での開催ということで、大地協の他施設からは離れた場所になり、他施設からの利用者は少なかったが、風の子の利用者は多数参加した。模擬店も珍しいものも多く、満喫し、今後の大地協バザーにも参加したいとの声があった。

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第17回児童部会

- ◆ 日 程 2018年 9月 24日(月祝)
- ◆ 開催場所 名古屋(発達センターあつた)
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉推進協議会

② 2018年度 第23回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2019年 2月 23日(土)～24日(日)
- ◆ 開催場所 東京都(国際ファッションセンター)
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東京都城東地区地域福祉施設協議会

③ 全体研修会(地域福祉研修会)の実施

(1) 第1回 全体研修会

- ◆ 日 程 2018年 9月 21日(金)
- ◆ 時 間 19時～20時45分
- ◆ 会 場 育徳園幸分ホール
- ◆ テーマ 「大地協・セツルメント・地域福祉の歴史から学ぶ」
- ◆ 講 師 松村寛先生(社会福祉法人 水仙福社会 理事長)
- ◆ 参加者 45名

□講演の概要

松村寛先生は、1957年に大阪府社会福祉協議会に就職された。その後、社会福祉法人水仙福社会を設立し、さまざまな事業を発展させてこられた。長年、松村先生がセツルメント・地域福祉活動を実践されてきた中で1950～70年代の活動や社会状況を中心に講演いただいた。以下、講演の概要。

□セツルメントの歴史とその意義

明治の時代は、富国強兵のもと軍備をすすめる国民はほったらかし状態で貧困問題が深刻化していた。当時、石井十次を筆頭に民間社会福祉がセツルメント運動をすすめてきた。しかし、戦後、国からお金が出る(制度化)と制度に安住するという発想が広がり「セツルメントは終わった」と言われた。

しかし、大阪にはセツルメント運動の全国組織の中心があった。そして、大阪セツルメント研究協議会を結成し北市民館や民間社会福祉が中心となり行政の協力も得ながら「必要だと思うことはやっていく」という力と信念で活動を広げてきた。

□人格的交流とニーズによるつながり

松村先生は「人から受ける影響は大事である」と語られた。これこそ、現在の大地協が大切にしている(大切にしていかなければいけない)人と人のつながりと「ニーズを仕事の範囲とする制度の枠にとらわれすぎることのないボランティアズム」と「ネットワーク」の重要性ではないだろうか。また、戦前のセツルメント活動家は「人間として」活動してい

た。そして、「すべては関係の中で発展した」「すぐれた活動をしている人と接触して学ぶ。それが生き方に帰ってくる。人格として接触すること」と語られた。

□福祉は何を見るのか

マイノリティの立ち位置に立つこと。その目線に立つことの重要性が語られた。水仙福祉会の後援会の存在意義について「お金を集めるのが後援会の意味ではなく、障がい者差別をなくすことが目的なんだよ」と当時の後援会長である岡村重雄先生が語られたことを紹介された。そして、相模原の障がい者施設での事件にも言及され、福祉に携わる人はこの事件から目を背けていることは問題なのではないかと問題提起もされた。

□地べたから行う地域福祉活動

民間の先駆性と理念という情熱や思いを持ち、今必要な課題ニーズを市民へ、社会へ、ソーシャルアクションとして行動を起こすことが大切である。そして、私たちは、福祉は今何をすべきかということを考えていかなければならない。

※以上の報告は、あくまでもご講演内容の概要なので、講演記録は地域福祉の諸問題に掲載を予定しています。

7. 各種分野別研究会

I. 地域の子育て支援研究会

①活動報告

(1) 第1回 研修会

- ◆ 日時 2018年 5月 8日(金) 18:30~20:00
- ◆ テーマ “こんなときどうする?” ~食事と排泄~
出席者がおらず中止となる。

(2) 地域の子ども研究会との合同研修会

- ◆ 日時 2018年 7月 19日(木) 18:30~20:30
- ◆ テーマ “こんなときどうする?” ~遊びと環境~
- ◆ 参加者 8施設16名
- ◆ 内容 接続期の課題、不安について焦点をあてる。乳幼児期から学童期へ連続した支援について、アンケートをもとに意見交換をする。また、遊びと環境について各施設の取り組みなどの情報交換を行う。

<一部>遊びと環境について情報交換

課題として、子どもの絵本の扱い方が気になることや玩具の用意の仕方・適切な量はどれくらいか?が挙げられた。また、安全を確保すると遊びが規制され、十分に遊びが経験できない現状も挙げられた。それぞれの施設の環境構成を図で示し、遊びへの工夫を参考にすることができた。

学童期の子どもについては、幼児期に十分遊びを経験していないと自分で遊びを見つけられない傾向があるとのことで、改めて幼児期の遊びの大切さを感じた。

<二部>アンケート集計をもとに意見交換

地域の子ども研究会が担当し進めた。内容については、地域の子ども研究会の報告を参照下さい。

(3) 第2回 研修会

- ◆ 日時 2019年 2月 25日(月) 14:30~16:30
- ◆ テーマ “どんなことしてる?” ~防災を考える~
- ◆ 参加者 7施設13名
- ◆ 内容 施設での災害に対する心構えと備えについて理解を深めた。地震のメカニズムを知り、マニュアルの整備と周知の徹底・訓練の重要性を感じた。また、災害発生時の情報収集及び予測能力が必要であることも学んだ。図上訓練による散歩ルートや遊び場所の安全確認では、普段からできる対策を考えることができた。昨年の地震や台風災害体験について、グループワークを行い、その時の状況・困ったことなどを話しあった。課題が見つかり、アドバイスを受けることで課題の解決につながり、次回に生かせることが多くあった。訓練をしていても、いざという時の判断が難しい。今回の研修会で防災の大切さを改めて感じる事ができた。

Ⅱ. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」

②活動報告

(1)合同行事の実施

○ともだちドッジボール大会

開催時期：2018年 5月 27日(日)

参加人数：10施設 小学生242名 大人141名

- ・昨年度同様、「交流」を意識し、施設の枠を超え、合同チームでの取り組みを行った。

○ともだちフェスティバル

開催時期：2018年 11月 18日(日)

参加人数：9施設 小学生172名

- ・各施設子どもと考えたブースを作る。各ブースを周り、イベントに参加して交流を図る。

(2)情報交換

- ・現場での悩みや疑問、活動内容を発信し、即実践に活かすことのできる情報交換を実施した。様々な施設での取り組み、各指導員の視点、遊び等を参考にしながら、普段の子どもとの関りを見直す。

(3)研究活動

○テーマ：地域福祉施設としての防災・減災・災害後何ができるのか

～災害後を見据えて、今できる事は何か～

大規模災害を子どもたちに“脅かす”のではなく“知識を得て伝え、共に考える”事の必要性を感じ、施設内で備える事・子ども達へ伝え共に考える事・地域へ発信する事は何か、更には災害後の私たちの役割は何なのかという視点から施設へのアンケート実施、目黒巻を用いてのシュミレーションなどを実施しました。

○テーマ：不登校の現状について考える。

各施設の不登校に関する事例を出し、指導員としてできる事は何かを深めていく。大学教授の資料や、講演会の参加などを行い、その内容を元に話し合う。身近にある不登校について、地域福祉施設の職員として何ができるのかを考えました。

○テーマ：小学生の身体・心の発達について

年齢ごとの「身体・運動面」「人間関係」「遊び」「思考・言語・価値観」「課題と配慮」の項目に分け、文献の姿と、実際に指導員が関わっている姿を踏まえて、今後の子どもの姿を考える際の指標となるように、発達の表の作成を行う。

(4)研修活動

○合同研修会 地域の子ども研究会・地域の子育て研究会

日時 日時：2018年 7月 19日(木)

会場 育徳園

- ・アンケート集計結果を基に意見交換
- ・保育に関する各施設の取り組みなどの情報交換
- ・就学前、就学後アンケートを基に、様々な施設と意見交換を行い、悩みや困っている事を共有し、新たな視点を広げる事を目的として実施。

Ⅲ. 地域の障がい児・者研究会

①活動報告

第1・3・4・7・10回 育徳園、第2・5・6・8・9回 望之門保育園
(いずれも午後7時30分～9時開催)

第1回	5/22	・研修会メンバーの確認と役割分担 ・今年度の活動計画
第2回	6/5	・事例検討(愛染橋保育園、望之門保育園)
第3回	7/10	・事例検討(長居子どもの家)
第4回	8/28	・支援者座談会の計画 ・事例検討(育徳園子どもの家)
第5回	9/18	・支援者座談会の計画 ・事例検討(キンダーハイム)
第6回	10/16	・支援者座談会準備会
<u>支援者座談会</u>	10/23	会 場：育徳園保育所 3階幸分ホール(参加者 27名) テーマ：「子どもたちから学んだエピソードを語る」 ～子どもの持つ力を見つけよう～
第7回	11/20	・支援者研修会のテーマについての検討
第8回	1/23	・支援者研修会準備会
<u>支援者研修会</u>	1/29	会 場：育徳園保育所 3階幸分ホール(参加者 83名) テーマ：「つまづきのある子どもの意欲の土壌を育むために 私たちができること」 講 師：伊丹 昌一氏(梅花女子大学教授)
第9回	2/26	・次年度の研究会について(年間テーマ、方向性)
第10回	3/12	・フリートーク「障がいとは何か」 ・2019年度の計画(日程等)

IV. セツルメント研究会

①活動報告

(1)研究会の開催

- 今年度の研究会は、セツルメント精神の現代化（理論と実践）と新たな社会問題・地域課題の解決と予防と社会への発信と新たな協働という視点で研究・研修活動に取り組んだ。

第1回	6/20	地域福祉の諸問題への掲載原稿編集会議
第2回	6/26	セツルメント研究会 計画会議（地域福祉の心を問う）
第3回	6/27	地域福祉の諸問題掲載原稿編集会議
第4回	9/6	全体研修会企画（地域福祉の歴史から学ぶ）
第5回	9/21	大地協・セツルメント・地域福祉の歴史から学ぶ 講師 松村寛先生（水仙福祉会）
第6回	11/5	セツルメント研究会 映画上映会企画会議
第7回	12/2	映画自主上映会開催 「隣る人」刀川和也監督 トークイベント 刀川さん（監督）・稲塚さん（制作）
第8回	3/8	次年度計画 （セツルメントの実践と持続可能な共生社会を構想する）

会場：わかくさ保育園 時間：19時30分～21時ごろ

(2)研修会の開催

- 全体研修会（地域福祉研修会）の主催をおこなった。地域福祉施設の歴史から学び、地域福祉の未来を構想するための研修会を開催した。また、この研修会は、大地協の加盟施設職員の交流とつながりの場と位置づけて取り組んだ。

全体研修会	9/21	「大地協・セツルメント・地域福祉の歴史から学ぶ」 講師 松村寛先生（社会福祉法人 水仙福祉会 理事長） 会場 育徳園保育所 幸分ホール
-------	------	---

※研修会の詳細は、全体研修会の欄に記載

(3)映画自主上映会「隣る人」の開催

- ◆ 日程 2018年12月2日（日）
- ◆ 時間 10:00～ 映画上映会
11:30～ トークイベント
刀川和也（監督）×稲塚由美子（制作）×吉田正義（大地協）
12:30～ 交流会
- ◆ 会場 在日韓国基督教会館（KCC会館）
- ◆ 講師 刀川和也監督、稲塚由美子氏
- ◆ 参加者 90名

◆ 映画の概要

□映画が出来上がるまで

「隣る人」映画監督刀川さんは、フリーのジャーナリストとして、フィリピンや、「9・11」後にアメリカが攻めた頃の、アフガニスタンで空爆の被害者に取材する活動始める。フィリピンでは、「ジャパゆきさん」と呼ばれる母親の子どもが、街で花を売っている所で出会い、その家族と関わり取材する。アフガニスタンでは、空爆を受けた被害者の取材中、過酷な環境の中でも逞しく働いている子どもたちと出会い、この2つの取材が刀川さんの原点となる。

2001年「大阪池田小学校事件」を契機に、「ゆたか」と言われている日本で起きたこの事件は一体何なんだろうという衝撃を受けた。この事件をきっかけに、子どもの問題・家族の問題について調べるようになる。子どもの問題を調べているときに、「光の子どもの家」施設長、芹沢さんと出会う。芹沢さんは、児童養護施設という、決して家族でも家庭でもありえない場で、家庭的な暮らしを実践しようとする「疑似家族」のような営みから、本当の家族・家庭といったことが逆に見えてくるのではないかと刀川さんに話された。刀川さんは是非「光の子どもの家」に行ってみたいと考え、8年間、延べ600時間の撮影に至り出来上がった映画が「隣る人」である。

□児童養護施設「光の子どもの家」

児童養護施設は、様々な事情によって家族と生活が出来ない子どもが育つための施設である。この施設では、少しでも家庭的な家族的な環境を創り出すために、小舎制を取り入れ、一人の職員が5人以内の子どもを担当し、疑似母子関係を形成する仕組みを取っている。また、施設長の「職場で子どもたちは育たない」という信念のもと、職員は交代勤務ではなく、本当の家族として一緒に生活をして暮らしている。

□映画を通して

児童養護施設の中で、子どもたちと職員の関りから、「人とひとの繋がりとは何か」「家族とは何か」「人として生きるとはどういうことか」「隣に添うとはどういうことか」を見て人に問い掛ける。暮らしの営みを通して「かけがえのない」関係になっていく様子を描き、「何気ない日常」のなかにこそ、子どもたちにとって極上の宝物といえるようなものが一杯詰まっている場が見られる。

「かけがえのない」関係とは、「何があっても私はここにいるよ。あなたと出会えて良かったよ」という信号を発信し続け、子どもたちはその信号が途切れないことを確認し、途切れないことが確信になった時、子どもたちは安らぎと安心感を抱くことができる。「自分のことをちゃんと見てくれている」という確信が、確かな「手ざわり」のある貴重な時間であり、そんな毎日の人間的な温もりを持った関りが、子どもたちを生かしている。そんな、当たり前毎日の様子を丁寧に描いた映画である。

□隣る人とは

「隣る人」の映画のタイトルは、「光の子どもの家」理事長の菅原哲夫さんが、子どもたちの傍に居続ける人のことを「隣る人」と呼んでいた事に由来する。子どもたちの傍に居続けることとは、一方的に断たれることのない関係を子どもたちが確信し、ゆるぎないものとして内在化できたときに「かけがえのない人（隣る人）」の存在（信頼の基盤）を実感する。人は誰もひとりでは生きていけない。基盤となる「断ち切られることのない」「かけがえのない」関係を期限なしに保障することは、子どもたちが何歳になっても必要なことであり、自分を形作った幼かった子ども時代に、一緒に居てくれた人のもとに帰ってくるのも、自分を信じ待っている隣る人の存在があるからであろう。

(4)交流型研修

- ・ 大地協（セツルメント研究会）主催では法人の枠を超えた交流型研修会を開催できなかった。しかし、2018年度に愛染園大国保育園の職員が望之門保育園で実習と施設長・担当者からのレクチャーを受ける形で交流型研修を行った。これをモデルとして次年度の計画に持ち越す。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動報告

○新年会

- ・ 2019年 1月 12日（金） 会場：魚河岸料理 ざこば
- ・ 40名（16施設、個人会員2名）参加

9. 広報宣伝部

①ねらい

- ・ 大地協の取り組みをホームページ及びメーリングリストを使い、活動に協力・賛同いただいている方々（加盟施設、個人会員、利用者等）に報告する。

②活動報告

- ・ メーリングリストを利用して、加盟施設及び個人会員に業務連絡や研修の案内を随時送信した。
- ・ ホームページに、各研究会の案内及び報告、バザーのお知らせ及び報告、日地協の全国研修の案内などを随時掲載した。
- ・ ホームページに、「地域福祉の諸問題 第2号」を掲載した。
- ・ 大地協の活動をよりオープンにするため、役員会及び企画委員会の報告を掲載した。

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

(1枚目/2枚中)

科目		決算額	予算額	増減(△)	備考
収入	正会員会費	660,000	675,000	△ 15,000	
	個人正会員会費	24,000	45,000	△ 21,000	
	調査研究・研修事業収入	93,000	0	93,000	
	まちづくり事業収入	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	147,200	320,000	△ 172,800	
	自然体験事業費	4,228,960	5,165,000	△ 936,040	
	小中高生の生活体験事業収入	75,240	25,000	50,240	
	寄付金収入	680,000	380,000	300,000	
	受取利息	71	12	59	
	雑収入	2,074,146	1,400	2,072,746	
	拠点区分繰入金収入	1,331,999	1,605,888	△ 273,889	
	積立金取崩収入	0	0	0	
	収入合計	9,314,616	8,217,300	1,097,316	
	支出	事務費	460,710	180,000	280,710
会議費		1,308,016	100,000	1,208,016	
会費		120,000	115,000	5,000	
調査研究・研修事業費		250,922	250,000	922	
まちづくり事業費		0	0	0	
スポーツ文化的事業費		157,075	350,000	△ 192,925	
自然体験事業費		4,769,546	4,677,300	92,246	
管理費		120,000	120,000	0	
バス借料		2,531,500	2,930,000	△ 398,500	
備品・寝具		180,427	140,000	40,427	
修繕費		1,175,572	500,000	675,572	
保険料		42,580	42,580	0	
光熱水費(電話)		420,391	481,000	△ 60,609	
固定資産税		86,300	88,800	△ 2,500	
自治会協力費		0	0	0	
ワークキャンプ経費		63,264	70,000	△ 6,736	
雑費		149,512	304,920	△ 155,408	
小中高生の生活体験事業費		183,206	0	183,206	
雑費		166,630	40,000	126,630	
予備費		0	0	0	
拠点区分繰入金支出	1,331,999	1,605,888	△ 273,889		
積立金積立支出	6,000,000	0	6,000,000		
支出合計	14,748,104	7,318,188	7,429,916		
収支	収支差額	△ 5,433,488	899,112	△ 6,332,600	
	前年度繰越金	8,039,261	8,039,261	0	
	次年度繰越金	2,605,773	8,938,373	△ 6,332,600	

NPO法人 大阪市地域福祉施設協議会 財産目録

2019年(平成31年)3月31日 現在

(単位:円)

種類	場所等	使用目的	金額
預金	りそな銀行 萩ノ茶屋支店 普通預金口座 (望之門保育園)	会費受け入れ、支払い等	1,927,414
預金	りそな銀行 萩ノ茶屋支店 普通預金口座 (望之門保育園)	山の家 支払い等	671,270
預金	三菱UFJ銀行 大阪恵比寿支店 普通預金口座 (望之門保育園)	その他 支払い等	7,089
預金	近畿大阪銀行 長居支店 普通預金口座 (長居保育園)	琵琶湖セツルの家関係	0
預金	りそな銀行萩ノ茶屋支店 普通預金口座 (望之門保育園) 手続き中	修繕積立金	6,000,000
現金	(愛染橋保育園)	小口現金	0
現金	(わかくさ保育園)	小口現金	0
土地	セツルの家 土地 623.03平米	セツルの家駐車場	30,000,000
資産合計			38,605,773

会長 倉光 慎二 様


NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会の監査結果について

帳簿、領収書等精査した結果、適正に処理されていることを確認いたしましたことをご報告いたします。

2019年5月13日（月）

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

監事

戸田 正三 

監事

篠瀬 実千代 

2019年度事業計画（案）

1. 総会、役員会、委員会の活動

① 総会の開催

2019年度総会 5月27日（月）大阪市立社会福祉センター

② 役員会の開催（随時）

③ 施設長会の開催（随時）

④ 各種委員会の開催

- | | |
|-----------|-----------------|
| ◆ 定例企画委員会 | 事業等の企画・運営・調整 |
| ◆ 拡大企画委員会 | 事業等の企画・運営 |
| ◆ 研修委員会 | 各種分野別研究会等の計画・実施 |

① 地域の子ども研究会

② 地域の子育て支援研究会

③ 地域の障がい児・者研究会

④ セツルメント研究会

- | | |
|---------------|---|
| ◆ 自然体験施設事業委員会 | ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
ワークキャンプ活動（小・中・高生）
②びわこセツルの家改修工事 |
|---------------|---|

《 特別委員会 》

- | | |
|---------------|---------------------------|
| ◆ バザー実行委員会 | 第21回自然体験施設応援バザーの企画・運営 |
| ◆ 全国研修会準備委員会 | 日地協主催 第24回全国地域福祉施設研修会東京大会 |
| ◆ 全国児童部会準備委員会 | 日地協主催 第18回全国地域福祉施設研修会児童部会 |

2. 年間行事

5月26日	第34回 ともだちドッジボール大会	長 居 小
5月27日	大阪市地域福祉施設協議会総会	大阪市立社会福祉センター
7月 25~26日	第61回 大都市社会福祉施設協議会	札 幌 市
7~ 8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月22日	第18回 全国地域福祉施設研修会児童部会	大 阪 市
11月17日	第49回 ともだちフェスティバル	長 居 公 園
1月12日	第25回 こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
1月 日	新 年 会	(未 定)
1月26日	第21回 自然体験施設応援バザー	長 居 保 育 園
2月16~17日	第24回 全国地域福祉施設研修会	愛 知 県

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業計画

・ 5月	セツルの家下見	セツルの家
・ 5月16日	セツルの家利用打ち合わせ会	長居保育園
・ 6月30日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 7月 4日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月~8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 8月 9日	セツルの家消防訓練 (やまと保育園子どもの家)	セツルの家
・ 9月10日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月14~15日	中高生キャンプ	セツルの家
・ 9月~3月	セツルの家夏季外利用	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜、駐車場の清掃、草刈り、整備
- ・ 浜東側、溝の清掃、整備
- ・ 台風被害、浜整備工事
- ・ 飛び込み台新調 (2台)

4. ワークキャンプ

①活動計画

- ・ 6月30日(日)、琵琶湖セツルの家を拠点としたワークキャンプ活動を実施していく予定。

5. 自然体験施設応援バザー

①第21回 自然体験施設応援バザー

日 程 2020年 1月 26日(日)
開催場所 長居保育園

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第18回児童部会

- ◆ 日 程 2019年 9月 22日(日)
- ◆ 開催場所 大阪市
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会

② 2018年度 第24回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2020年 2月 16日(土)～17日(日)
- ◆ 開催場所 名古屋(日本福祉大学)
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉推進協議会

③ 全体研修会(地域福祉研修会)の実施

- ・ 日程、開催場所、詳細については未定。
- ・ これまで大地協が大切にしてきた理念や先人の思い、実践などから学び、共有していくとともに、これからの地域福祉施設、職員のあり方を議論し合える場を提供する。
- ・ 広く地域や様々な領域に向けての研修会なども企画し、住民をはじめとしたさまざまな主体とともに学び、地域福祉の向上や新たな地域課題の発掘から解決、予防まで目指した活動に取り組む。

7. 各種分野別研究会

I. 地域の子育て支援研究会

①テーマ

“学ぼう！知ろう！実践しよう！”

②目的

- ・ 昨年度、研修会をシリーズで予定したが参加者が少なく、内容や実施時期・時間を検討した。また、大地協以外でも研修は多く実施され、研修会の在り方も検討した。今年度は、テーマを決めて研究活動を主に行い、その中で理解を深めたい内容が出てきたら研修会を実施する。

③活動内容

- ・ 愛着関係の築き方や多文化を配慮した保育内容など、テーマを決め、主に事例検討をもとに話し合いを進める。
- ・ 施設見学も計画し、各施設の環境構成や視覚支援など参考にしていきたい。6月から研究会をスタートし、1ヵ月に1回行う。

II. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」
～踏み出す努力・視点・研究・還元～

②活動計画

(1)開催について

- 開催日：月2回 金曜日 開催時間：10：00～12：00
- 会場：研究会参加施設

※開催回数につきましては、取り組んでいる研究、研修会や行事の準備のため回数を増やして実施する月があります。詳細は、毎月の通信で各施設にお知らせいたします。

(2)活動の4つの柱（※は補足）

(ア)子どもたちとの活動

- ・ 2019年度子ども達との活動では「出会い、知り、繋がろう」を目標に掲げ、合同行事で生まれる子ども達の出会いとふれあいを得るために取り組みます。
- ・ 他施設の子ども達や、地域の子ども達と合同行事を通じ、子ども達が主体的に繋がろうと思えるよう、きっかけや環境作りに取り組みます。他施設の子どもと指導員（大人）との関りや、指導員が子ども同士を繋ぐ役割を担い、更に合同行事が地域と繋がる場になる事を目指し、企画します。

- ・そして中高生が大地協との繋がりを感じ、自己発揮ができる居場所となる活動、学童期から中高生へと連続した関わりの中で、充実した活動となるように取り組んでいきます。
- ・合同行事以外でも子ども同士の繋がりを意識できるようにきっかけを作る事も役割として担い、それぞれの子どもの「今」だけではなく「先（未来）」の豊かさにも繋がっているという願いを込めて活動に取り組みます。

※各行事では、子ども達が「主体性」を持って取り組んでいけるように工夫していきたい。昨年度、中高生ワークはセツルの家の年間利用に繋がるようにと、参加者の増員を目的として、リバトレを一度辞めて子ども達にもゆかりのあるセツルの家でワークキャンプ、自然体験活動を行った。昨年度からの反省・課題を生かし、今年度につなげたい。6年生も参加の対象とし、次の中高生活動にも繋がるようにする。日程調整、引率職員の確保・バス、運転手の確保の検討を早めに行う様にしたい。

(イ)情報交換

- ・学童期の子どもたちと関わる支援員同士、日々の現場での悩みなどを共有し、積極的に情報を獲得しに行く事を意識し、意見交換、ケース検討という形で共有します。各指導員の持つ課題を共有し他施設での対応を聞く事や、施設の垣根を越えて学童指導員としての役割と目指すべき姿を討議する場になるよう取り組みます。そして実践に活かせるように、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるように実施いたします。

(ウ)研究活動

- ・学童支援員（放課後児童支援員）・地域福祉施設職員としての専門性を高める為、自ら学び共に研究します。研究活動内容をスタッフ間で協議し、2019年度は“子どもの権利条約”“子どもとの関わりや視点”“気がかりな子どもへの対応”というテーマで研究を行ってまいります。上記テーマで実践を伴い、研究を深め、更に研究会スタッフ間に留まらず自施設の子どもの達や職員に学びを還元できるように、テーマ設定を行いました。その中で得たことを、研修会として企画、開催していく事を視野に入れ、計画的に活動していきます。

※研究活動ではテーマを3グループに分け、平行して進めていきます。一つは児童部会と共通したテーマで進めていきます。

(エ)研修活動

- ・個々の学びや加盟施設職員のスキルアップにも繋がる研修会を目指し、実施内容を検討していきます。例年実施してきた研修会のねらいや役割を整理し、個々の学びや加盟施設職員のスキルアップにもつなげる研修会を目指し、実施内容を検討していきます。
- ・企画に向けては、地域の子どもの研究会のみならず、大地協本部・加盟各施設・在籍職員の協力を仰ぎ、地域の子どもの研究会が企画主体となり実施に向けて進めていきます。
- ・また、他の研究会とも連携した研修会を目指し、地域の子どもの研究会としての視野を広め、学びを深めます。各研究会の方々と専門分野を越えた横のつながりを持ち、合同研修を通じて新たな気付きや取り組みの方法を見つけます。

※研究会内だけではなく、必要に応じて地域の障がい児者研究会や児童部会等、大地協が関係している研修全体の視点からどう取り組んでいくのかを考えていきたい。

地域の子ども研究会は、以上4つの柱から学び、得られるものを、子どもたちへ、施設へ、地域へ、とかえす意識と役割を持ち、研究会での活動に取り組みます。

③合同行事の実施日程(予定)

- ・ 2019年 5月26日(日) 第34回ともだちドッジボール大会
- ・ 2019年 11月17日(日) 第49回ともだちフェスティバル

Ⅲ. 地域の障がい児・者研究会

①活動方針

- 「地域の中で暮らしていく上での問題とは何かを明確にする」－発見
- 「地域の中で暮らしていく上ではどのような支援が必要なのかを明確にする」－実践
- 「共に学び、共に語る」－対等

②活動の柱

(1)事例研究により学びを深める

- テーマ：障がい児・者研究会が考える「人権」と「平和」
- ・ 研究会メンバー個々の事例をもとに、討議を繰り返す行う。

(2)支援者座談会の開催

- ・ 10月29日(火)を予定
- ※保育士・指導員・放課後児童支援員などを対象に開催。
- 日常の現場での悩みや相談、質問などを話し合う場とする。

(3)支援者研修会の実施

- ・ 2月4日(火)を予定。 セツルメント研究会と合同開催。

(4)調査活動の準備

- ・ 支援者自身(保育士を中心とする)の肯定感の状況を調べる。

③大切にしたい視点

- ・ 障がいのある子ども本人の権利と主体性
- ・ 障がいのある子どもの保護者の権利と主体性
- ・ 障がいのある子どもと関わる職員のスキルアップ
- ・ 地域住民の理解
- ・ 多くの機関とのネットワーク

IV. セツルメント研究会

①ねらい

- ・ セツルメント精神の現代化（理論と実践）と新たな社会問題や地域課題の解決と予防という視点を持ち、研究、研修活動に取り組む。研究活動に関しては、研究誌「地域福祉の諸問題」への掲載など、研究成果を広く社会に発進、還元する。
- ・ また、研究活動では、セツルメントの歴史からの学びや、日々の地域福祉実践から見えてきた課題や事例検討などを通して地域に暮らすすべての人が安心して生活できる社会づくりに向けた学習会を行う。

②活動計画

(1)研究活動

- ・ セツルメント研究会は、人権と平和の視点から、いまおこっている深刻な社会問題に対して、現行の細分化と専門化による問題解決ではなく、分野の壁を越えた地域における実践や経験による知を結集し、私たちが直面する諸課題に挑むための研究をすることで持続可能な共生社会を構想していく。

(2)研修活動

○歴史から学ぶ

- ・ 福祉現場において長年にわたる地域福祉実践、セツルメント活動に取り組まれた方を招き、大地協やそれぞれの地域実践の歴史から学ぶことで、その精神の継承と現代におけるセツルメントの意義を学ぶための研修会やインタビュー（シリーズ化を計画している）を行う。

○全体研修Ⅰ（地域福祉研修）

- ・ 全国地域福祉施設研修会（第23回東京大会）の報告会を開催し、大地協加盟施設の職員で特に参加していない人を対象に研修会を行う。

○全体研修Ⅱ（障がい児・者研究会とのコラボ企画）

- ・ 近年、福祉現場において発達障がいのある子どもやその保護者が抱えるさまざまな悩みがよくかれます。地域の障がい児・者研究会とコラボし、学校、保育園、学童指導員などの現場でかかわる人たちと子育て中の保護者が一緒になって日々の悩みや生きづらさに対して話ができる研修会を企画する。

○交流型研修会の開催

- ・ 大地協加盟施設の施設内研修などに交流研修という形で相互的に参加することのできる仕組みを作り、日常業務（保育、介護、療育、様々な支援など）のなかで、地域福祉の視点を持ち、セツルメントとは何かということを身近に感じ、考えることのできるような取り組みを行う。また、その中で施設や業種、分野の壁を超えたきめ細やかな支援ネットワークの形成や精神でのつながりを目指す。

○先進的な活動をされている団体などとの連携

- ・ 先進的な取り組みや全国でセツルメント的な活動をされている諸団体との連携、交流などに取り組む。

- ・ 適宜必要なテーマに合わせた講演会の開催や「映画上映」、先進事例の視察などを計画している。例えば、子どもの貧困問題への取り組みや、現在注目されている社会的養育の視点などを検討している。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動計画、内容

- ・ 9月頃 夏を惜しむ会
- ・ 12月頃 令和元年を振り返る会
- ・ 1月 新年会

※ 美味しい料理を食べ、心、身体の疲れを癒す交流会を企画していく。

施設間の交流を深める為、職場紹介や仕事観の違いなど、互いに話せる場、また新人職員も参加しやすい、あたたかい雰囲気作りを大切にしていく

9. 広報宣伝部

①ねらい テーマ

- ・ ホームページに大地協の活動を随時掲載し取り組みを広く一般に周知する。
- ・ メーリングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。

②活動計画

- ・ ホームページに、大地協の年間活動報告、地域福祉の諸問題、各研究会の案内及び報告、バザーのお知らせ及び報告など活動を何でも掲載することによって、大地協の取り組みを周知する。
- ・ メーリングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。
- ・ 加盟施設職員でメールでの配信を希望する方に送信することができないのか検討する。

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支予算書

(1枚目/2枚中)

科目		予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
収入	正会員会費	675,000	675,000	0	
	個人正会員会費	45,000	45,000	0	
	調査研究・研修事業収入	0	0	0	
	まちづくり事業収入	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	200,000	320,000	△ 120,000	
	自然体験事業費	4,720,000	5,165,000	△ 445,000	
	小中高生の生活体験事業収入	150,000	25,000	125,000	
	寄付金収入	480,000	380,000	100,000	
	受取利息	71	12	59	
	雑収入	2,100	1,400	700	
	拠点区分繰入金収入	2,558,773	1,605,888	952,885	
	積立金取崩収入	0	0	0	
	収入合計	8,830,944	8,217,300	613,644	
	支出	事務費	222,000	180,000	42,000
会議費		200,000	100,000	100,000	
会費		120,000	115,000	5,000	
調査研究・研修事業費		290,000	250,000	40,000	
まちづくり事業費		0	0	0	
スポーツ文化的事業費		300,000	350,000	△ 50,000	
自然体験事業費		5,628,880	4,677,300	951,580	
管理費		120,000	120,000	0	
バス借料		2,800,000	2,930,000	△ 130,000	
備品・寝具		400,000	140,000	260,000	クーラー2台
修繕費		1,500,000	500,000	1,000,000	
保険料		42,580	42,580	0	
光熱水費(電話)		430,000	481,000	△ 51,000	
固定資産税		86,300	88,800	△ 2,500	
自治会協力費		150,000	0	150,000	
ワークキャンプ経費		100,000	70,000	30,000	
雑費		0	304,920	△ 304,920	
小中高生の生活体験事業費		250,000	0	250,000	
雑費		150,000	40,000	110,000	
予備費		200,000	0	200,000	
拠点区分繰入金支出	2,558,773	1,605,888	952,885		
積立金積立支出	0	0	0		
支出合計	9,919,653	7,318,188	2,601,465		
収支	収支差額	△ 1,088,709	899,112	△ 1,987,821	
	前年度繰越金	2,605,773	8,039,261	△ 5,433,488	
	次年度繰越金	1,517,064	8,938,373	△ 7,421,309	

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 会員施設一覧表

2019年 5月

	施設名	施設長	〒	所在地	TEL	FAX
1	風の子保育園(子どもの家)	松村 寛	533-0004	東淀川区 小松1-11-8	6328-4019	6328-4030
2	都島児童館	村上 明子	534-0021	都島区都島本通3-16-10-4F	6921-4385	6921-4385
3	平和の子どもの家(保育園)	松野 五郎	535-0022	旭区 新森 7-1-5	6954-0524	6954-1961
4	育徳園保育所(子どもの家)	倉光 慎二	545-0021	阿倍野区 阪南町 5-12-5	6621-1901	6621-1904
5	阿さひ保育園つくし会(学保)	西山 幸恵	545-0051	阿倍野区 旭町 3-1-6	6631-4718	6631-1607
6	望之門学童クラブ	藤井 道雄	545-0052	阿倍野区阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
7	今川学園隣保館(子どもの家)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
8	さくらんぼ保育園(子どもの家)	万福 潤一	547-0001	平野区 加美北 7-7-10	6791-2007	6791-8035
9	港隣保館子どもの家(保育園)	山口千扶美	552-0015	港区 池島 1-3-47	6571-3182	6571-7503
10	四貫島友隣館(子どもの家)	嶋田 良介	554-0022	此花区 春日出中1-15-13	6461-3713	6462-1072
11	愛染園愛染橋保育園. 児童館	小谷 啓二	556-0006	浪速区 日本橋東 2-9-11	6632-5640	6632-5645
12	児童館・今池こどもの家	小谷 啓二	557-0016	西成区 花園北 2-16-26	6632-7020	6632-7020
13	長居保育園	宮川 ヒサ	558-0004	住吉区 長居東 4-11-16	6691-3669	6691-8292
14	やまと保育園子どもの家	三谷 節子	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1746	6682-1786
15	初社教ミッド社会館ミッド保育園	富田恵美子	532-0028	淀川区 十三元今里1-1-52	6309-7121	6309-7123
16	育徳園(コミュニティーセンター)	村尾 光宥	545-0021	阿倍野区阪南町5-15-28	6621-1901	6629-1979
17	大阪市立西成市民館	河崎 洋充	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-1	6633-7200	6633-7203
18	東三国デイベンチャー なみはや	和田美恵子	532-0002	淀川区 東三国 2-12-16	6350-2880	6350-2887
19	水仙の家(高齢デイベンチャー)	在町 香月	533-0004	東淀川区 小松 1-12-10	6370-2266	6370-2325
20	特養ひまわりの郷	海老子隆一	534-0021	都島区都島本通 4-10-19	6924-8880	6924-8883
21	特別養護老人ホーム いくとく	加藤 久美	545-0001	阿倍野区天王寺北3-18-16	6713-1165	6714-1185
22	高齢者デイベンチャー-いくとくⅡ	副)吉野三栄子	545-0013	阿倍野区 長池町 18-20	4399-0120	4399-0121
23	愛和デイサービスセンター	安藤 勝子	547-0002	平野区 加美東 1-6-35	6796-3520	6796-3751
24	長居子どもの家	宮川 ヒサ	558-0004	住吉区 長居東 4-11-16	6691-3669	6691-8292
25	地域生活支援センター 風の輪	加藤啓一郎	533-0004	東淀川区 小松 1-13-3	6323-6395	6323-2856
26	都島児童センター	丸山 智子	534-0021	都島区 都島本通 3-4-3	6921-5323	6921-5783
27	愛信保育園	金 恵心	544-0032	生野区 中川西 2-5-15	6712-2020	4303-4778
28	松の実保育園	松本 千幸	545-0021	阿倍野区 阪南町1-16-10	6623-5400	6628-8385
29	望之門保育園	金 恵栄	545-0052	阿倍野区阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
30	育和白鷺学園(保育園)	寺田 修	546-0002	東住吉区 杭全 3-9-17	6719-2697	6719-2698
31	今川学園(保育園)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
32	北田辺保育園	戸田 正三	546-0044	東住吉区 北田辺 3-6-4	6713-0915	6713-0925
33	メリーガーデン保育園	天野佐知子	550-0013	西区 新町 4-13-16	6532-1360	7501-4278
34	めぐみ保育園	奥田 輝代	551-0011	大正区 小林東2-3-5-101	6553-4025	6553-5005
35	わかかさ保育園(あおぞら保育)	藤川 晴之	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-2	6633-2965	6633-2970
36	愛染園南港東保育園	澤村 稔	559-0031	住之江区南港東1-6-3-101	6612-1800	6612-1820
37	大國保育園	西野 伸一	556-0014	浪速区 大國 2-13-1	6649-6182	6649-5821
38	アフタースクールKIDSなみよけ	山口あつ子	552-0001	港区 波除 4-4-18	6583-5230	6583-5231
39	アフタースクールKIDSかわぐち	山口あつ子	550-0021	西区 川口 3-1-23	6599-9070	6599-9071
40	大阪聖和保育園	長瀬 光子	544-0034	生野区 桃谷 5-10-29	6731-6112	6718-2595

	施設名	施設長	〒	所在地	TEL	FAX
41	安立保育園	本山寿美子	559-0003	住之江区 安立 4-6-17	6671-8846	6671-8853
42	特別養護老人ホーム ガーデン天使	嶋田 真奈	554-0024	此花区 島屋 4-1-11	6460-0028	6460-0025
43	やまと保育園	名城 嗣盛	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1741	6682-1786
44	アフタースクールKIDSいちもと	山口あつ子	552-0002	港区 市岡元町 2-16-21	6567-8324	6567-8304
45						

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 個人正会員名簿

	会員名	〒	住所	TEL	所属
1	出水 敦美				
2	永岡 正己				
3	増岡 智典				
4	大川 明宏				
5	川畑 光大				
6	大方 美香				
7	石田 博一				
8	工藤 正和				
9	山本 征範				
10	浦田 ヤス子				
11	寺田 登紀子				
12	西口 智子				
13	岡野 加世子				
14	饗場 律子				
15	杉江 悦子				
16	吉田 妙子				
17	竹内 久美				
18	宮川 友理子				
19	宮川 ヒサ				
20	川崎 洋幹				
21	佐藤 剛				
22	飯田 信也				
23					
24					
25					

